



# たかといちどいだよい



令和7年2月 第112号  
たかといちどい保育園

保育園と小学校に「架け橋」を！

宮田 孝一

「神戸つばめプロジェクト」をご存じでしょうか。これは、神戸市教育委員会が進める幼保小接続の取り組みの総称です。

- ・教職員、保護者、地域の人々みなさんが子供をともに見守り育てる
- ・世界に羽ばたき、神戸をふるさととして大切に思う心を育てる

この二つの観点から、市立小学校および公・私立の認定こども園や幼稚園、保育所（園）の校種を超えた施策が進められています。

その主な取り組みは、次の三つです。

- ① 小学校教育への接続を踏まえた「幼児教育の充実」
- ② 幼児期の学びを引き継ぐ「小学校教育の充実」
- ③ 園と小学校との「地域での連携・接続」



去る1月27日(月)午後3時30分に、近隣の幼稚園・保育所(園)の園長と主任(主幹)が、神戸市立だいち小学校の会議室に集いました。教頭先生と第1学年世話係の先生が同席され、記念すべき「第1回幼保小連絡会議(仮称)」が行われました。この地域で幼保小接続の第一歩が踏み出されたのです。

これまで、子ども同士の交流会等は行われてきましたが、幼保小の職員が顔を合わせて、互いに接続期の子どもの姿について、情報共有を図る場が設けられたのは初めてです。

小学校からは、幼児期の遊びを通じた総合的な学びが、各教科の学習に円滑につながられるように、と作成された「スタートカリキュラム」の説明がありました。新1年生に優しい先進的な取り組みに対して、多くの驚きと感謝の言葉が述べられました。これをもとに、各園の「アプローチカリキュラム」を、より充実させていきたいと思えます。

幼稚園・保育所(園)からは、5歳児のカリキュラムを中心に、小学校入学に向けた取り組み等について報告しました。「入学前の子どもたちのくらしや学びの姿を知ることができて、大いに参考になった。」との感想をいただき、大変うれしく思いました。

最後になりましたが、この会の開催をご快諾いただいた鳥山校長先生に、心より感謝申し上げます。今後もこの会が継続して開催され、さらに進化していくことを願ってやみません。ありがとうございました。



## 2月の予定



節分の会	3日(月)	救急訓練	4日(火)
誕生会	5日(水)		
発育測定	17日(月)～19日(水)		
避難訓練	21日(金)		
体育あそび	13日(木)・27日(木)		





せわんべき



最近、身の回りのことに興味をもち色々なことを自分でしようとするようになりました。テラスに行く時は、自分のジャンパーが分かり取りにきます。そして保育士が着やすいように広げると腕を通そうとしています。靴下は、はくのは難しいですが、自分で脱ごうとするようになりました。着替えの時にはズボンに足を通すようにもなりました。食事が終わるとタオルを取って口を拭く子どももいます。まだまだ一人でするのは難しいですが、これからも自分でしたい気持ちを大切にしながら保育士が手を添えて援助していきます。

あさひ組の子どもたちは友だちのことが大好きで、傍に行って遊んだり声をかけ触れ合ったりしていつも楽しそうに遊んでいます。最近は簡単な言葉を話す子どもも増えてきました。友だち同士まだまだ上手く伝わらないことも多いですが、子どもの気持ちを代弁し思いが伝わる嬉しさ、友だちと関わる楽しさを感じられるよう援助していきます。



今月のねらい：喃語や言葉で自分の思いを伝え、友だちと関わって遊ぶことを楽しむ



むらさき



以前は保育士とのやりとりが中心だった子どもたちも、話せる言葉が増え、友だちとやりとりをしながら一緒に遊ぶ姿が増えてきました。ママごとでは、「いっしょにたべよう」「おいしいね」「どうぞ」とやりとりをしています。絵本を見て「おばけがいるね」「おばけこわいね」と出てきたものを伝え合い、会話を楽しむ姿も見られます。今後も、友だちと思いを伝え合い、やりとりを楽しむ姿を見守り、様子に応じて仲立ちをしたり、思いを代弁したりすることで様々な言葉に触れ、やりとりを楽しめるようにしていきます。

今月は、『あぶくたった』や『むっくりくまさん』をししたり、絵合わせカードゲームを取り入れたりし、簡単なルールのある遊びを楽しめるようにしていきます。



どうぞ～

おばけ  
いるね～



今月のねらい：保育士や友だちと簡単なルールのある遊びを楽しむ



りっぴき



先月は、給食の後はブクブクうがい、外から帰ってきたらガラガラうがいなど、使い分けができるよううがいをする意味を改めて伝えました。何度か伝えると、子どもたちの方から「つぎはガラガラでしょ！」と教えてくれるほどになりました。少しずつ使い分けを意識する子どもが増えてきています。これからは保育士が傍に付いて取り組む様子を認めることで、自信をもってうがいができるようにしていきます。

今月は、進級に向けて幼児クラスにたくさん遊びに行きたいと思います。幼児クラスになると新しい玩具があることや年上の友だちがたくさんいることを伝えると、子どもたちも大喜びでした。そう・うさぎ・きりんグループそれぞれに入り、異年齢の友だちとの関わりや新しい玩具を存分に楽しめるよう、傍に付いて仲立ちし、遊び方をらせていきます。

今月のねらい：保育士や年上の友だちと一緒に好きな遊びを楽しむ

がらがら～



みててね！





# きりんグループ



1月は、協力して遊べるリレーやボール遊びなどを取り入れました。異年齢での関わりが増え、勝つと嬉しそうに友だちと喜んでいましたが、負けた際に、友だちへの厳しい意見も聞こえてきました。みんなで話し合うことで「チームの仲間です勝つために作戦を考える」という目標ができました。チームになると、先頭に立つ子どもが「2かいしてもいいよ、じゃあじゅんばんは〇〇のほうがいいかな」と友だちの思いも聞きながら勝つためにはどうすればいいかを考えて発信する姿がありました。勝った時の嬉しさに寄り添ったり、負けた時の悔しさに共感したりしながら、これからもチームで力を合わせて遊ぶ楽しさを感じられるように配慮していきます。

時間を意識して過ごす子どもの姿が増えているので、今月は、一人ひとりが主体的に行動できるよう、見通しをもって次の行動を伝えたり、時間を知らせたりして関わっていきます。

今月のねらい：見通しをもって行動する

がんばるぞ！



# うさぎグループ



食べることが大好きな子どもたち。意欲的に食べる子どもたちですが、食べるスピードが早いので、保育士と一緒に食べる中でよく噛むことを意識できるように知らせてきました。また、給食を食べる前に当番のゆめぐみが毎日メニューと一緒に「かっこよくすわりましょう」「よくかんでたべましょう」と食事中に気をつけることを伝えるようにしたので、子どもたち自身正しい姿勢や噛む回数を意識しながら食事するようになってきました。今後も引き続き様々なマナーを守りながら食事ができるように丁寧に知らせていきます。

今月は、寒さに負けずみんなでマラソンやリレー等をする機会を作り、室内や戸外でのびと体を動かして遊べるようにしたいと思います。



いっぱいかんでるよ



今月のねらい：存分に体を動かして遊ぶことを楽しむ



# ぞうグループ



先月はお正月遊びを楽しみました。ぼうずめくりでは、ゆめぐみが中心となって、そらぐみ、ほしぐみの友だちにルールを教えて一緒に楽しんでいました。自分たちでお正月の絵を描いて作った羽子板では、風船をついて遊びました。何度か連続でつくことができると、大喜びの子どもたちでした。今後も様々な経験ができるよう、季節の遊びや伝承遊びを取り入れていきたいと思っています。

感染症が流行する時期となりました。感染予防に努められるよう、手洗いうがいをすることの大切さや意味を子どもたちと考えたり、傍で見守ったりしながら丁寧にできるようなしていきます。

ぼうずめくり



羽子板遊び



かるたとり



今月のねらい：丁寧に手洗いうがいを

《野菜炒めに挑戦！！》



ホットプレートで炒め始めると、野菜が焼けるパチパチという音や美味しそうな香りに包まれました。みんなで出来上がった野菜炒めを食べると、普段は野菜が苦手な子どもも自分から口へ運んでいました。自分で作ったという達成感も味わいながら、実際に食材を見て触って、匂いを嗅いで、焼ける音も楽しむことで、様々な食材に興味をもち、食べてみようとする意欲に繋がったのではないかと思います。これからも食材を大切にする気持ちや調理する楽しさを味わえるように、クッキングをしたり、食材に触れる機会を設けたりしていきます。

先月はたかとりちどりキッズの友だちと初めてのクッキングに挑戦しました。もやしやキャベツ、しめじを手で小さくちぎったり、豚肉と一緒に炒めたりして野菜炒めを作りました。普段は野菜が苦手な子どもたちも、野菜を一口で食べられる大きさにちぎることは楽しかったようで、もやしを折る時には「ポキっておとがするよ」と話したり、「きのこはんぶんになった！」と割けたしめじの断面を見せたりしていました。



《親子でクッキング》



息子が1月で3歳になりました。あっという間に3歳で早いですね。そんな息子は、私がチョコ好きで食べている姿を見てチョコを食べ始め、スーパーでお菓子を見つけアイスやグミ、ハイチュウを手にとって「これ食べる」がきっかけで与えてしまい、今ではお菓子大好き男子になりました。夕方もおやつでお腹いっぱいになることが増えたのでおやつを減らすことにしました。我が家のルールで「お菓子は休日限定」にして現在実行中です。平日の帰宅後「お腹すいた～」と機嫌が悪くなるので、なるべく早くご飯を準備して食べるか、コースのようにできたものから出して食べています。それでも我慢できない時は、イエローキウイが好きなのでフルーツで時間稼ぎ。二つに切ったキウイを自分でスプーンを使って食べるので食べ終わるのが遅く、その間に急いで作っています。

私の作っている姿を見て、息子もご飯の手伝いをするようになりました。野菜を洗ったり、米を研いだり、味見したりして一緒にキッチンに立って楽しんでいきます。母の願いで料理男子になってほしいので一緒にお菓子作りも始めました。まだ回数は少ないですが、ケーキやみたらし団子を一緒に作りました。ケーキは、市販のスポンジ生地を買って一緒に生クリームを作り、いちごを切って準備し、後は自由にトッピングして楽しみました。みたらし団子も作る工程が楽しく、混ぜる、こねる、ちいさく丸めるを夢中で楽しんでいました。「ちょろちょろへび～」と言いたくさん作ってくれました。好きな形にアレンジができ一石二鳥。タレも家にある材料でできるので簡単でした。これからも簡単に作れる物から作って楽しみたいと思います。

大國 紗羅

